

1年学年だより

1年学年だより No.4
令和6年 6月 10日(月)
金沢市立港中学校1年

働くことの意義について深く学びました!

6月6日(木) 1年生職業学習 at ジョブカフェ石川開催!

6月6日(木) 貸し切りバスでジョブカフェ石川へ行き、1年生の職業学習を実施しました。

7:50 登校にほぼ全員が間に合い、スムーズにバスに乗車し、8:10にはバスが発車できました。バスに乗ること約35分。8:45に本多の森ホールにあるジョブカフェ石川に到着しました。

早速9:00から3つの班に分かれて「職業講話」、「キャリア・ガイダンス」、「職業適性診断&職業疑似体験」の3種類を体験しました。今回の職業講話の講師の先生方は、造園業の松村一慶さん、建築業の永井菜緒さん、公務員獣医師の井上良太さんでした。どのお話も初めて知ることが多く、とても興味深かったですね。今勉強していることはどの教科もすべて大切だというお話もありました。将来必ずどこかで役に立つ場面が来るので、気を抜かずに今やっている勉強や部活動は最大限に努力しましょう。



キャリア・ガイダンスでは、「働く人に必要な態度」について説明がありました。「①周りの人に認められること」「②任せられたことを最後までやる」「③失敗してもあきらめない」などが挙げられました。また、「どんなことをすると人に良い感じを与えるか」については、「①自分から、明るく、あいさつをする」「②何かしてもらった時はお礼を言う」「③他の人へも気を配る」などがありました。社会人になってから身につけるといよりは、中学1年生の今から培っていくべき項目ばかりでしたね。「あいさつの基本」の「あ」は「明るく」(笑顔、大きな声)、「い」は「いつも」(誰にでも、どこでも)、「さ」は「先に」(自分から)、「つ」は「続ける」(習慣づける)という語呂合わせもとてもわかりやすかったと思います。これからの生活にぜひ取り入れていきましょう。

職業適性診断では、自分がどんな職業に向いているかを診断してもらった後、興味のある職業についての詳しい資料を印刷しました。中には、何種類も資料を印刷して満足そうな人もいましたね。将来の仕事選びの参考になったと思います。



職業疑似体験では、それぞれのブースに2~3人が入って、職業疑似体験システム(ジョブクエスト)を操作して、消防士や美容師など11の職業について、働く人のインタビューや面接シミュレーションなどをゲーム感覚で楽しみながら体験できましたね。面接で「採用決定!」となった人はどのくらいいたのでしょうか。将来、就職試験の時にこの日の面接経験がきっとプラスにつながると思います。



ジョブカフェ石川での体験学習はわずか半日だけでしたが、職業について幅広く学ぶことができ、とても充実した校外学習になったと思います。GW中の課題だった「職業インタビュー」、各クラスでの「職業インタビュー発表会」に続けて、この日は実際に働く人の話を間近で聞き、働く人に必要なマナーについて学び、自分が向いている職業は何かについて診断してもらうなど、この1か月間で職業についてかなり深く学ぶことができよかったですね。日々当たり前に使

えている電気や水道、ガスの料金や、毎日の食事代などはお家の方々苦勞して働いた給料から支払われていることにも感謝しましょう。



ジョブカフェ石川での職業学習で心に残ったことを言葉に

< 1年生 職業学習を終えて (生徒の振り返りより一部抜粋) >

私は仕事のイメージはお金をかせぐことだと思っていたけど、自分のためでも他の人のためでもあるということを知れました。集団行動や礼儀正しい行動ができるようにしたいと思います。
(1組 岡本 彩生さん)

大人のひととしゃべるときに敬語を使ったり、面接のときにどんなことを言えばよいかも覚えられたりして良かったです。法律を覚えたり、礼の角度を覚えたりして、社会に出るときに生かしたいと思いました。(1組 松島 旭飛さん)

動物の食品管理や健康を守ることが大切だということ、牛さんの健康のために研究をして食卓を守るために働くことが大変良くわかりました。
働く理由は、お金をためるほか、人の役に立つことと自分のためにがんばることということがよくわかりました。
(みなと1組 濱上 愛禾さん)

僕は松村さんのお話を聞いて、人生の休み時間も必要だということがよくわかりました。そして、松村さんのように僕もたくさんチャレンジして、やりがいのあるいい仕事に就きたいです。自分も将来の夢があるので、そのために自分の人間性や礼儀などを高めて、夢をかなえられるようにがんばりたいです。
(2組 空本 孝太郎さん)

働く目的や仕事との出会いなど将来に必要なことを教えてくださったので、これから大切にしていきたいなと思いました。今までの生活を振り返って、できていなかったことや初めて知ったこともあったので、意識して生活していきたいなと思いました。
(2組 堀田 寧々さん)

建築の仕事について、どんな手順で仕事をしているのか、どんな内容でこの仕事になるために何が 필요한のかをくわしく教えてくださいました。丁寧なおじぎの仕方やあいさつの基本、マナーが必要な理由をわかりやすく教えてくださいました。実際に礼をしてみたりしてとても勉強になりました。(2組 山本 利渚さん)

今後、成長して進路を決めるときに、どんな高校に行くか、そして、そのために今何ができるかを考える機会でした。自分に合うものを探すことができたのでよかったです。そして勉強が何のために必要かで高校・大学の選択の自由、会社の設立につながることを知ったので、よりいっそう頑張っていきたいです。
(3組 村井 兜真さん)

今後、職を決めるとき、「働く意義と中学生のマナー」、「職業疑似体験システム」を生かしたいです。永井菜緒さんが言っていた、『会社は自分で作れる』という言葉聞いたときに、私も自分で会社を立ち上げてみたいと思い、これからは生かしたいです。
(3組 土岡 怜生さん)

働く目的はお金をかせぐことしか思いつかなかったけど、人の役に立つことや、自分のために働くことなどもあることがわかりました。また、おじぎにはいろいろな種類があることがわかりました。会話は知っていたけど、敬礼、最敬礼などもあるんだとわかりました。
(3組 近宗 楓我さん)

プレゼンが見やすく、とてもわかりやすかったです。建築業の仕事内容や、この仕事をするために必要な知識などがわかりました。どの教科も大切で、将来に絶対に役立つとわかったので、今のうちから勉強をがんばりたいです。
(4組 川端 佑季さん)

家畜の伝染病を予防したり、検査したり、指導して下さったりしているおかげで、当たり前にあるいつもの食卓があるんだと感じました。
なぜ働くのか、どうやってその仕事に出会うのかなど、働く意義についてより深く知れたと思いました。
(4組 西井 日月さん)

私の知らない職業がまだまだたくさんあることがわかったし、自分にどんな職業が向いているのかわかったので、自分に合ったやりたい仕事を見つけたいです。礼儀や社会の一員として必要なことがわかったので、それを忘れず誰に対しても丁寧に接したいです。(4組 沖中 美月さん)

礼儀正しいあいさつのやり方、必要なこと、マナー、今できることなどをよく知ることができてよかったです。今後、気をつけていきたいです。
職業講話でお話を聞いて、職業を選ぶときに、「こんな仕事もあるな」と考えて職業を決めていきたいと思いました。(5組 坂口 玲音さん)

社会に出たらマナーやお金のことが何より大事になってくるとわかったので、人に対する礼儀やマナーが今後大切だと感じました。そして今は親が払ってくれている電気代や水道代も、いつか自分で払うことになると思うので、お金の使い方を工夫していきたいです。仕事をしている間、お客さんの対応法から困ったときの対応法まで学んだので将来活かしていきたいです。(5組 加藤 千翔さん)

話を聞いて、毎日のごはんで、お肉が食べられているのは、井上さん達のおかげだとわかった。そして、鳥インフルエンザなどの病気にかかったら、すべてを殺処分することがわかって、大変だなと思った。パロンでくわしく診断をして、自分に合う仕事が見つかった。将来その仕事をするかわからないけど、参考になったのでよかったです。
(5組 番匠 航平さん)

